

# もうひとつの日本美術史 近現代版画の名作2020

Another History of Japanese Art

Masterpieces of Modern and Contemporary Prints 2020

2020年9月19日(土) ~ 11月23日(火・祝)

和歌山県立近代美術館

## 出品リスト

### 凡例

No.	作家名	制作年	所蔵
前	後	作品名	材質技法など

- ・展示作品を、およそ時代順、章、出品番号順に記載しています。
- ・No.は展示の順番とは必ずしも一致しません。
- ・右記の日程で展示替えがあります。前期：9月19日～10月25日 / 後期：10月27日～11月23日
- ・各作品の展示期間については、No.の下に■で示しました。
- ・作者名や作品名が推定である場合、また作者以外の者が便宜的につけた作品名は [ ] に記しました。
- ・同一冊子に掲載される作品、挿画などは作品番号の後にa / b / cの枝番号を附して区別しました。
- ・出品作品のほとんどが紙を支持体としているため、その表記を省略しました。支持体が紙以外の場合のみ、技法に続けてそれを記しました。
- ・No. 6-23は和歌山会場では展示されません。

## 第1章 「版画」前夜—印刷のなかの美術

1-1	鈴木 蕾齋 [画]	明治10年代	西宮K氏コレクション
■	■	明治暴勇聚	木版
1-2	鈴木 蕾齋 [画]	1887(明治20)頃	西宮K氏コレクション
■	■	「蝙蝠傘 綿フラン子ル卸商 南為太郎」引札	木版
1-3	林 基春 [画]	明治20年代	西宮K氏コレクション
■	■	「づつう膏 浪花の梅」絵びら	木版
1-4	北野 恒富 [画]	明治30年代	西宮K氏コレクション
■	■	引札見本	木版
1-5	小林 清親 [画]	明治20年代	西宮K氏コレクション
■	■	「東京昇栄舎大勉強」絵びら	リトグラフ
1-6	星野 茂三郎 [印刷]	1889(明治22)	西宮K氏コレクション
■	■	貴顕令嬢	リトグラフ、手彩
1-7	荒川 藤兵衛 [画・製版]	1889(明治22)	西宮K氏コレクション
■	■	入谷之朝顔	リトグラフ
1-8	結城 正明 [刻]	1877(明治10)	西宮K氏コレクション
■	■	ヒポクラテス像	エッチング、エンブレーヴィング
1-9	森 琴石(響泉堂) [画・刻]	1883(明治16)	西宮K氏コレクション
■	■	有馬温泉炭酸水改良建築并市街写真絵図	エッチング
1-10	志村 千郷 [画・刻・印刷]	1883(明治16)	西宮K氏コレクション
■	■	一枝堂明治17年略暦	エッチング
1-11	合田 清(生巧館) [画・刻]	1888(明治21)	西宮K氏コレクション
■	■	独逸皇帝フレデリッキ三世之肖像 『毎日新聞』第5253号附録	木口木版
1-12	合田 清(生巧館) [画・刻]	1892(明治25)	西宮K氏コレクション
■	■	昇竜図 『東京朝日新聞』第2125号附録	木口木版
1-13	岡村 政子 [画・推定]	1891(明治24)	西宮K氏コレクション
■	■	露国の帝室 『時事新報』第3021号附録	リトグラフ
1-14	岡村 政子 [画] / 酒井鈴子 [石画]	1891(明治24)	西宮K氏コレクション
■	■	忠臣義士	リトグラフ
1-15	岡村 政子 [画]	1897(明治30)	西宮K氏コレクション
■	■	「新聞を読む女性」 『時事新報』第5000号附録	リトグラフ
1-16	蔵画館 [版元]	1892(明治25)	西宮K氏コレクション
■	■	聖皇式拾五年詔勅及憲法文集	リトグラフ
1-17	浅井 忠 [画]	1894(明治27)	西宮K氏コレクション
■	■	桜狩〈十二月之内〉 『時事新報』第3934号附録	リトグラフ

1-18	北澤 楽天 [画] やまとひめとブリタニヤ 『時事新報』第6689号附録	1902(明治35)	西宮K氏コレクション リトグラフ
1-19	和田 英作 [画] 朝日 『大阪朝日新聞』第12494号附録	1916(大正5)	西宮K氏コレクション リトグラフ
1-20	和田 英作 [画] [大正天皇と三国元首] 『大阪朝日新聞』第12555号附録	1917(大正6)	西宮K氏コレクション リトグラフ
1-21	高橋 由一 [画] / 玄々堂 『三県道路完成記念帖』栃木県	1885(明治18)	個人蔵 リトグラフ、手彩/絹
1-22	高橋 由一 [画] / 玄々堂 『三県道路完成記念帖』福島県	1885(明治18)	個人蔵 リトグラフ、手彩/絹
1-23	高橋 由一 [画] / 玄々堂 『三県道路完成記念帖』山形県	1885(明治18)	個人蔵 リトグラフ、手彩/絹
1-24	中丸 精十郎(金峯) 「ギゼー」大石塚并二「スフィンクス」ノ図 『輿地誌略』巻8(3篇上)	1875(明治8)	西宮K氏コレクション エッチング
1-25	梅村 翠山(慶岸堂) [左] / 松田 緑山(二代玄々堂) [右] 西伏克尼(秘魯)ノ岩石ノ図 [左] / 丹克尼河(秘魯)ノ洞門ノ景 [右] 『輿地誌略』巻11下(4篇中)	1877(明治10)	西宮K氏コレクション エッチング [左] / リトグラフ [右]
1-26	亀井 至一 [画] / 玄々堂 『観古図説 陶器之部』3 挿画	1877(明治10)	西宮K氏コレクション リトグラフ
1-27	森 琴石(響泉堂) [画・刻] 江州琵琶湖之景 『和漢対照挿画 明治新用文大成』上	1881(明治14)	西宮K氏コレクション エッチング
1-28	森 琴石(響泉堂) [画・刻] 摂津住吉之図 『和漢対照挿画 明治新用文大成』下	1881(明治14)	西宮K氏コレクション エッチング
1-29	森 琴石(響泉堂) [画・刻] 一心寺之図 [左] / 茶白山之図 [右] 『明治新刻 大坂名所独案内』上	1882(明治15)	西宮K氏コレクション エッチング
1-30	森 琴石(響泉堂) [画・刻] 耶蘇教天主堂 [左] / 商船学校之図 [右] 『明治新刻 大坂名所独案内』下	1882(明治15)	西宮K氏コレクション エッチング
1-31	松本 楓湖 [画] 平重盛父清盛乃非謀を諫止す 『幼學綱要』1	1882(明治15)	西宮K氏コレクション 木版
1-32	松本 楓湖 [画] 魏の鄧哀王冲巨象乃斤重を稱礼 『幼學綱要』6	1882(明治15)	西宮K氏コレクション 木版
1-33	小柴 英 [製版] 会津城中烈婦和歌ヲ残ス之図 『佳人之奇遇』2	1885(明治18)	西宮K氏コレクション リトグラフ
1-34	作画者不詳 『普通読本』1編上 挿画	1887(明治20) 第3版(初版1886)	西宮K氏コレクション 木版
1-35	浅井 忠 [画] / 生巧館 [製版] 『帝国読本』巻2 扉絵	1893(明治26)再版 (初版1892)	西宮K氏コレクション 木口木版
1-36	二世 五姓田 芳柳 [画] / 生巧館 [製版] 『帝国読本』巻6 扉絵	1893(明治26)再版 (初版1892)	西宮K氏コレクション 木口木版

## 第2章 版画に向かう画家たち—『方寸』の時代

2-1	山本 鼎 漁夫 『明星』辰歳第7号所収	1904(明治37)	和歌山県立近代美術館 木版
2-2	山本 鼎 野鷄	1912(大正元)	和歌山県立近代美術館 木版
2-3	山本 鼎 ブルターニュの小湾	1913(大正2)	和歌山県立近代美術館 木版
2-4	青木 繁 [画] / 山本 鼎 [刻] 繡斧 蒲原有明『春鳥集』所収	1905(明治38)	福島県立美術館 木口木版
2-5	戸張 孤雁 千住大橋の雨	1913(大正2)	和歌山県立近代美術館 木版
2-6	石井 柏亭 木場	1914(大正3)	和歌山県立近代美術館 木版
2-7	織田 一磨 洲崎之景〈東京風景〉	1916(大正5)	和歌山県立近代美術館 リトグラフ
2-8	織田 一磨 上野廣小路〈東京風景〉	1916(大正5)	和歌山県立近代美術館 リトグラフ
2-9	織田 一磨 道頓堀〈大阪風景〉	1917(大正6)	和歌山県立近代美術館 リトグラフ
2-10	織田 一磨 京町橋夜景〈大阪風景〉	1919(大正8)	和歌山県立近代美術館 リトグラフ

2-11	南 薫造(伊上凡骨 [復刻]) 魚見 『美術新報』第11巻第3号所収	1912(明治45)	福島県立美術館 木版
2-12	南 薫造 舟おろし	1910~13(明治43~大正2)	和歌山県立近代美術館 木版
2-13	南 薫造 [風景]	1910~13(明治43~大正2)	和歌山県立近代美術館 木版
2-14	富本 憲吉 壺(竹林月夜)	1920(大正9)頃	和歌山県立近代美術館 木版、手彩
2-15	太田 三郎 銭湯	1914(大正3)	和歌山県立近代美術館 木版
2-16	太田 三郎 カフェーの女 『現代の洋画』第23号「版画号」所収	1914(大正3)	和歌山県立近代美術館 木版
2-17	岡本 帰一 夕の街路 『現代の洋画』第23号「版画号」所収	1914(大正3)	和歌山県立近代美術館 木版
2-18	清宮 彬 花 『フェウザン』第4号 表紙	1913(大正2)	和歌山県立近代美術館 木版
2-19	バーナード・リーチ 天壇	1916(大正5)	個人蔵 エッチング
2-20	岸田 劉生 怒れるアダム〈天地創造〉	1914(大正3) 1975(昭和50)刷	福島県立美術館 エッチング
2-21	岸田 劉生 築地風景	1912(明治45/大正元)	和歌山県立近代美術館 木版
2-22	竹久 夢二 港屋絵草紙店	1914(大正3)	千葉市美術館 木版
2-23	竹久 夢二 新富座当り狂言 雁治郎の忠兵衛 福助の梅川	1914(大正3)	千葉市美術館 木版
2-24	竹久 夢二 小春	1914(大正3)	千葉市美術館 木版
2-25	竹久 夢二 治兵衛	1914(大正3)	千葉市美術館 木版
2-26	藤島 武二 [画] / 伊上 凡骨 [刻] 靴なほし 『明星』第13号 挿画	1901(明治34)	個人蔵 木版
2-27	藤島 武二 [画] 『明星』第14号 表紙	1901(明治34)	個人蔵 リトグラフ
2-28	石井 柏亭 休業 『方寸』第2巻第4号 挿画	1908(明治41)	和歌山県立近代美術館 リトグラフ
2-29	山本 鼎 真昼 『方寸』第3巻第4号 挿画	1909(明治42)	和歌山県立近代美術館 木版
2-30	石井 柏亭 サイダア(空壘買ひの娘) 『方寸』第3巻第6号 挿画	1909(明治42)	和歌山県立近代美術館 リトグラフ
2-31	織田 一磨 十字花 『方寸』第3巻第7号 挿画	1909(明治42)	和歌山県立近代美術館 リトグラフ
2-32	森田 恒友 『方寸』第3巻第9号 表紙装画	1909(明治42)	和歌山県立近代美術館 木版
2-33	浅井 忠 [画] 『時事漫画 非美術画報』巻2 表紙	1904(明治37)	個人蔵 リトグラフ
2-34a	鹿子木 孟郎 [画] 百年後に於ける桂太郎君の銅像 『時事漫画 非美術画報』巻3	1904(明治37)	個人蔵 リトグラフ
2-34b	鹿子木 孟郎 [画] 百年後に於ける寺内正毅君の掛物 『時事漫画 非美術画報』巻3	1904(明治37)	個人蔵 リトグラフ
2-35a	浅井 忠 鹿 『黙語図案集』	1908(明治41)	個人蔵 木版
2-35b	浅井 忠 大原女 『黙語図案集』	1908(明治41)	個人蔵 木版
2-36a	河合 卯之助 『鳳梨』第1号 表紙	1914(大正3)	和歌山県立近代美術館 木版
2-36b	松宮 實 景風 『鳳梨』第1号所収	1914(大正3)	和歌山県立近代美術館 木版
2-37	河合 卯之助 『黙鐘』第1巻第6号 表紙	1915(大正4)	和歌山県立近代美術館 木版
2-38a	河合 卯之助 図案私集『伊羅保』表紙	1916(大正5)	和歌山県立近代美術館 木版
2-38b	河合 卯之助 あきのゝあざみ 図案私集『伊羅保』	1916(大正5)	和歌山県立近代美術館 木版

2-38c	河合 卯之助 るりとらのをに文鳥 図案私集『伊羅保』	1916(大正5)	和歌山県立近代美術館 木版
2-39	南 薫造 『白樺』第3巻第5号 表紙	1912(明治45)	和歌山県立近代美術館 木版
2-40	バーナード・リーチ 『白樺』第4巻第6号 表紙	1913(大正2)	和歌山県立近代美術館 木版
2-41	富本 憲吉 『とりで』第2号 表紙	1914(大正3)	和歌山県立近代美術館 木版
2-42	岡本 帰一 『とりで』第8号 表紙	1913(大正2)	和歌山県立近代美術館 木版
2-M1	『現代の洋画』第23号「版画号」	1914(大正3)	和歌山県立近代美術館 冊子(雑誌)

### 第3章 自己を刻む—創作版画という青春

3-1	香山 小鳥 深川の冬	1912(大正元)	個人蔵 木版
3-2	香山 小鳥 愁	1913(大正2)	和歌山県立近代美術館 木版
3-3	田中 恭吉 病める夕べ 回覧雑誌『密室』VIII所収	1913(大正2)	和歌山県立近代美術館 木版
3-4	田中 恭吉 焦心 私輯『月映』II所収	1914(大正3)	和歌山県立近代美術館 木版
3-5	田中 恭吉 五月の呪 私輯『月映』IV所収	1914(大正3)	和歌山県立近代美術館 木版
3-6	田中 恭吉 冬虫夏草 公刊『月映』III所収	1914(大正3)	和歌山県立近代美術館 木版(機械刷り)
3-7	藤森 静雄 『月映』III ポスター	1914(大正3)	和歌山県立近代美術館 木版
3-8	藤森 静雄 よる 私輯『月映』III所収 [推定]	1914(大正3)	和歌山県立近代美術館 木版
3-9	藤森 静雄 [かげ]	1914(大正3)	和歌山県立近代美術館 木版
3-10	藤森 静雄 夜のうた 私輯『月映』II所収	1914(大正3)	和歌山県立近代美術館 木版
3-11	藤森 静雄 [灯のまえ]	1914(大正3)	和歌山県立近代美術館 木版
3-12	恩地 孝四郎 キリストとマリア 私輯『月映』III所収 [推定]	1914(大正3)	和歌山県立近代美術館 木版
3-13	恩地 孝四郎 [望と怖]	1914(大正3)頃	和歌山県立近代美術館 木版
3-14	恩地 孝四郎 裸形のくるしみ III 私輯『月映』V所収	1914(大正3)	和歌山県立近代美術館 木版
3-15	恩地 孝四郎 裸形のくるしみ IV 私輯『月映』V所収	1914(大正3)	和歌山県立近代美術館 木版
3-16	恩地 孝四郎 抒情『あかるい時』公刊『月映』V所収	1915(大正4)	和歌山県立近代美術館 木版(機械刷り)
3-17	長谷川 潔 ダンスB	1914(大正3)	和歌山県立近代美術館 木版
3-18	長谷川 潔 トラピスト修道院礼拝堂	1915(大正4)	個人蔵 木版
3-19	長谷川 潔 牧神の午後(ステファン・マラルメの牧歌)	1916(大正5)	個人蔵 木版
3-20	永瀬 義郎 抱擁	1915(大正4)	和歌山県立近代美術館 木版
3-21	永瀬 義郎 [風景]	1916(大正5)	個人蔵 木版
3-22	廣島 新太郎 泊船	1920~22(大正9~11)頃	和歌山県立近代美術館 木版
3-23	廣島 新太郎 夕暮小景	1922(大正11)	個人蔵 木版
3-24	長谷川 潔 仮面を持てる女 『仮面』第3巻第6号 表紙	1914(大正3)	和歌山県立近代美術館 木版

3-25	永瀬 義郎 をんな 『仮面』 第3巻第9号 表紙	1914(大正3)	和歌山県立近代美術館 木版
3-26	長谷川 潔 ある踊の印象 『水甕』 第2巻第6号 表紙	1915(大正4)	和歌山県立近代美術館 木版
3-27	恩地 孝四郎 公刊『月映』 VI 表紙	1915(大正4)	和歌山県立近代美術館 木版
3-28	恩地 孝四郎 公刊『月映』 VII 表紙	1915(大正4)	和歌山県立近代美術館 木版
3-29	長谷川 潔 『日本版画倶楽部 第1回 版画展目録』 表紙	1916(大正5)	個人蔵 木版

#### 第4章 「日本」の版画を求めて—新版画という挑戦

4-1	石井 柏亭 [画] / 伊上 凡骨 [刻] よし町 〈東京十二景〉	1910(明治43)	和歌山県立近代美術館 木版
4-2	石井 柏亭 [画] / 伊上 凡骨 [刻] 赤さか 〈東京十二景〉	1916(大正5)頃	和歌山県立近代美術館 木版
4-3	川端 龍子 [画] 木曾の秋	1915(大正4)	和歌山県立近代美術館 木版
4-4	鶴田 吾郎 [画] 泊船	1915(大正4)	和歌山県立近代美術館 木版
4-5	坂本 繁二郎 [画] / 伊上 凡骨 [刻] 神の湊—玄海灘を遠望 〈日本風景版画 第六輯 筑紫之部〉	1918(大正7)	和歌山県立近代美術館 木版
4-6	坂本 繁二郎 [画] / 伊上 凡骨 [刻] 水繩山—小森野より望む 〈日本風景版画 第六輯 筑紫之部〉	1918(大正7)	和歌山県立近代美術館 木版
4-7	橋口 五葉 [画] 化粧の女	1918(大正7)	和歌山県立近代美術館 木版
4-8	橋口 五葉 [画] 髪梳ける女	1920(大正9)	和歌山県立近代美術館 木版
4-9	橋口 五葉 [画] 神戸之宵月	1920(大正9)	和歌山県立近代美術館 木版
4-10	橋口 五葉 [画] 京都三条大橋	1920(大正9)	和歌山県立近代美術館 木版
4-11	川瀬 巴水 [画] 塩原畑下り	1918(大正7)	千葉市美術館 木版
4-12	川瀬 巴水 [画] 塩原しほがま	1918(大正7)	千葉市美術館 木版
4-13	伊東 深水 [画] 三井寺 〈近江八景〉	1917(大正6)	千葉市美術館 木版
4-14	伊東 深水 [画] 堅田浮御堂 〈近江八景〉	1918(大正7)	千葉市美術館 木版
4-15	伊東 深水 [画] 夜の池之端	1921(大正10)	千葉市美術館 木版
4-16	吉田 博 帆船 朝 〈瀬戸内海集〉	1926(大正15/昭和元)	千葉市美術館 木版
4-17	吉田 博 帆船 午前 〈瀬戸内海集〉	1926(大正15/昭和元)	千葉市美術館 木版
4-18	吉田 博 溪流	1928(昭和3)	千葉市美術館 木版
4-M1	『川瀬巴水 創作版画解説』	1921(大正10)	個人蔵 冊子
4-M2	『伊東深水 創作版画解説』	1921(大正10)	個人蔵 冊子
4-M3	『木版画目録』	1935(昭和10)	個人蔵 冊子

#### 第5章 自立する版画—日本創作版画協会のころ

5-1	山本 鼎 支那婦人	1917(大正6)	和歌山県立近代美術館 木版
5-2	山本 鼎 ブルトンヌ	1920(大正9)	千葉市美術館 木版

5-3	戸張 孤雁 女学生	1920(大正9)	和歌山県立近代美術館 木版
5-4	石井 鶴三 温泉	1928(昭和3)	和歌山県立近代美術館 リトグラフ
5-5	川西 英 銭湯図	1920(大正9)	和歌山県立近代美術館 木版
5-6	逸見 享 幸福な海女の群	1919(大正8)	和歌山県立近代美術館 木版
5-7	萬 鐵五郎 羅布かづく人	1924(大正13)	和歌山県立近代美術館 木版
5-8	川上 澄生 春の伏兵	1924(大正13)	和歌山県立近代美術館 木版
5-9	川上 澄生 絵ノ上ノ静物	1926(大正15/昭和元)	和歌山県立近代美術館 木版
5-10	深澤 索一 [風景]	1925(大正14)	和歌山県立近代美術館 木版
5-11	深澤 索一 薄日	1925(大正14)	和歌山県立近代美術館 木版
5-12	平川 清蔵 風景	1926(大正15/昭和元)	和歌山県立近代美術館 木版
5-13	織田 一磨 感覚	1920(大正9)	和歌山県立近代美術館 リトグラフ
5-14	織田 一磨 深林	1927(昭和2)	和歌山県立近代美術館 リトグラフ
5-15	前川 千帆 少女	1927(昭和2)	和歌山県立近代美術館 木版
5-16	平塚 運一 木崎湖	1927(昭和2)	和歌山県立近代美術館 木口木版
5-17	平塚 運一 机上小禽	1928(昭和3)	和歌山県立近代美術館 木口木版
5-18	旭 正秀 聖母マリア	1928(昭和3)	和歌山県立近代美術館 木版
5-19	永瀬 義郎 髪	1927(昭和2) [後摺]	個人蔵 木版(紺紙金泥摺)
5-20	永瀬 義郎 ある日の草人	1928(昭和3)	和歌山県立近代美術館 木版
5-21	恩地 孝四郎 植物の世界	1922(大正11)	和歌山県立近代美術館 木版
5-22	恩地 孝四郎 [人体]	1927(昭和2)頃	和歌山県立近代美術館 木版
5-23	諏訪 兼紀 花つぶて 『諏訪兼紀遺作小聚 小品六種』	1929-30(昭和4-5)頃	和歌山県立近代美術館 木版
5-24	畚 伊之助 マントン	1928(昭和3)	和歌山県立近代美術館 木版
5-25	竹腰 健造 ペルーシアのアウグストゥス門	1917(大正6)頃 エッチング、アクアチント	公益財団法人 西宮市大谷記念美術館
5-26	竹腰 健造 西横堀	1917(大正6)頃 エッチング	公益財団法人 西宮市大谷記念美術館
5-27	西田 武雄 4本の樹	1924(大正13)頃 エッチング	公益財団法人 西宮市大谷記念美術館
5-28	間部 時雄 キャムペール	1925(大正14)頃	和歌山県立近代美術館 エッチング
5-29	寺崎 武男 運河	制作年不詳	和歌山県立近代美術館 エッチング
5-30	渡辺 光徳 すか川 なべし橋	1925(大正14)	福島県立美術館 エッチング
5-31	渡辺 光徳 すか川 御隠居岳	制作年不詳	福島県立美術館 エッチング
5-32	織田 一磨 『版画』Vol.1, No.1 創刊の巻 表紙装画	1921(大正10)	和歌山県立近代美術館 凸版
5-33	小泉 癸巳男 『版画』Vol.1, No.3 春の巻 表紙	1921(大正10)	和歌山県立近代美術館 木版
5-34	河合 卯之助 巢ごもる鳩 『詩と版画』第6輯 表紙	1924(大正13)	和歌山県立近代美術館 木版

5-35	恩地 孝四郎 人貌『詩と版画』第8輯 表紙	1924(大正13)	和歌山県立近代美術館 木版
5-36	藤森 静雄 木守り『詩と版画』第9輯 表紙	1925(大正14)	和歌山県立近代美術館 木版
5-37	逸見 享 『詩と版画』第11輯 表紙	1925(大正14)	和歌山県立近代美術館 木版
5-38	深澤 索一 『港』第3輯 表紙	1927(昭和2)	和歌山県立近代美術館 木版
5-39	恩地 孝四郎 『風』第1号 表紙	1927(昭和2)	和歌山県立近代美術館 木版
5-40	川上 澄生 『風』再刊第4号 表紙	1929(昭和4)	和歌山県立近代美術館 木版
5-41	村井 正誠 『LE CHER PEINTRE』4 表紙	1926(大正15)	個人蔵 木版
5-42	村山 知義 『マヴォ』1 表紙デザイン	1924(大正13)	個人蔵 リノカット、写真版
5-43	村山 知義 『マヴォ』2 表紙デザイン・表紙画	1924(大正13)	個人蔵 リノカット
5-44	村山 知義 『マヴォ』3 表紙デザイン / 高見澤路直 《ラシヤメンの像》	1924(大正13)	個人蔵 リノカット、カラージュ
5-M1	戸張 孤雁 『創作版画と版画的作り方』	1922(大正11)	和歌山県立近代美術館 冊子(書籍)
5-M2	永瀬 義郎 『版画を作る人へ』	1922(大正11)	個人蔵 冊子(書籍)
5-M3	小泉 癸巳男 『木版画の彫り方と刷り方』	1932(昭和7)第6版(初版1924)	和歌山県立近代美術館 冊子(書籍)
5-M4	平塚 運一 『版画の技法』	1927(昭和2)	和歌山県立近代美術館 冊子(書籍)
5-M5	旭 正秀 『創作版画の作り方』	1927(昭和2)	個人蔵 冊子(書籍)
5-M6	西田 武雄 『エッチングの描き方』	1930(昭和5)	個人蔵 冊子(書籍)
5-M7	田辺 至 『エッチングの技法』	1930(昭和5)	個人蔵 冊子(書籍)
5-M8	旭 正秀 『版画の手ほどき』	1930(昭和5)	個人蔵 冊子(書籍)
5-M9	平塚 運一・織田 一磨・田辺 至 『創作版画 木版・石版・エッチングの作り方』	1931(昭和6)	個人蔵 冊子(書籍)
5-M10	川西 英 『たやすい版画の作り方』	1931(昭和6)	個人蔵 冊子(書籍)
5-M11	旭 正秀 『版画実習読本』	1932(昭和7)	和歌山県立近代美術館 冊子(書籍)
5-M12	武藤 完一 『エッチング技法』	1938(昭和13)	個人蔵 冊子(書籍)
5-M13	小野 忠重 『新理念 版画の技法』	1942(昭和17)	個人蔵 冊子(書籍)
5-M14	今 純三 『版画の新技法』	1943(昭和18)	個人蔵 冊子(書籍)
5-M15	大宮 昇 『絵画と印刷』	1944(昭和19)	個人蔵 冊子(書籍)
5-M16	『版画CLUB』第1年第1号	1929(昭和4)	和歌山県立近代美術館 冊子(雑誌)
5-M17	『日本創作版画協会 第6回展覧会目録』 表紙掲載作品：石井 鶴三	1924(大正13)	和歌山県立近代美術館 冊子
5-M18	『日本創作版画協会 第7回展覧会目録』 表紙掲載作品：恩地 孝四郎	1927(昭和2)	和歌山県立近代美術館 冊子
5-M19	『日本創作版画協会 第8回展覧会目録』	1928(昭和3)	和歌山県立近代美術館 冊子
5-M20	『日本創作版画協会 第9回展覧会目録』 表紙掲載作品：平塚 運一	1929(昭和4)	和歌山県立近代美術館 冊子

## 第6章 版画の東西—震災、都市、モダニズム

6-1	平塚 運一 ニコライ会堂〈東京震災跡風景〉	1923(大正12)	和歌山県立近代美術館 木版
6-2	平塚 運一 あさくさ〈東京震災跡風景〉	1925(大正14)	和歌山県立近代美術館 木版
6-3	稲垣 知雄 関東大震災直後の如水館	1924(大正13)	和歌山県立近代美術館 木版
6-4	前川 千帆 地下鉄〈新東京百景〉第3輯第22号	1931(昭和6)	和歌山県立近代美術館 木版
6-5	藤森 静雄 七月・花火の両国(隅田川)〈大東京十二景〉	1933(昭和8)	和歌山県立近代美術館 木版
6-6	武藤 六郎 東京駅〈武藤六郎版画集〉第1輯	1932(昭和7)	和歌山県立近代美術館 木版
6-7	武藤 六郎 清洲橋〈武藤六郎版画集〉第1輯	1933(昭和8)	和歌山県立近代美術館 木版
6-8	山口 進 永代橋〈帝都復興二十五景〉	1930(昭和5)	和歌山県立近代美術館 木版
6-9	平川 清蔵 [クレーン]	1932(昭和7)頃	和歌山県立近代美術館 リノカット
6-10	藤牧 義夫 「新版画集団第2回展」ポスター	1933(昭和8)	和歌山県立近代美術館 木版
6-11	水船 六洲 「新版画第2回展」ポスター	1933(昭和8)	和歌山県立近代美術館 木版
6-12	小野 忠重 死を回る人々	1933(昭和8)	和歌山県立近代美術館 木版
6-13	小野 忠重 工場街	1935(昭和10)	和歌山県立近代美術館 木版
6-14	清水 正博 数寄屋橋より	1933(昭和8)	和歌山県立近代美術館 木版
6-15	清水 正博 橋	1935(昭和10)	和歌山県立近代美術館 木版
6-16	大久保 一 陸橋	1932(昭和7)	和歌山県立近代美術館 木版
6-17	大久保 一 [車軸の折れた馬車(鉄西風景)]	1933(昭和8)頃	和歌山県立近代美術館 木版
6-18	徳力 富吉郎 太秦の牧場	1921(大正10)頃	和歌山県立近代美術館 木版
6-19	徳力 富吉郎 道頓堀の夜	1938(昭和13)	和歌山県立近代美術館 木版
6-20	麻田 辨次 燕子花其他	1930(昭和5)	和歌山県立近代美術館 木版
6-21	麻田 辨次 花	1936(昭和11)	和歌山県立近代美術館 木版
6-22	亀井 藤兵衛 鰯	1927(昭和2)	和歌山県立近代美術館 木版
6-24	亀井 藤兵衛 静まれる四条街頭	1928(昭和3)	和歌山県立近代美術館 木版
6-25	高橋 太三郎 玉乗り	1928(昭和3)	個人蔵 木版
6-26	武田 新太郎 [ステーション売店]	1935(昭和10)頃	和歌山県立近代美術館 木版
6-27	武田 新太郎 [豚]	1936(昭和11)	和歌山県立近代美術館 木版
6-28	長永 治良 虫相撲	1932(昭和7)	和歌山県立近代美術館 木版
6-29	長永 治良 ガラス器と果物	1933(昭和8)	和歌山県立近代美術館 木版
6-30	前田 藤四郎 ショウインドー(装飾窓)	1931(昭和6)	個人蔵 リノカット
6-31	前田 藤四郎 時計	1932(昭和7)	和歌山県立近代美術館 リノカット、銅凸版
6-32	川西 英 サーカス	1933(昭和8)	和歌山県立近代美術館 木版



6-33	北村 今三 秋色の阪神パーク 〈新日本百景〉	1939(昭和14)	和歌山県立近代美術館 木版
6-34	春村 ただを [風景]	1928(昭和3)	和歌山県立近代美術館 木版
6-35	川上 澄生 クイン 『HANGA』第1号 表紙	1924(大正13)	和歌山県立近代美術館 木版
6-36	深澤 索一 土蔵のある風景 『HANGA』第3号 表紙	1924(大正13)	和歌山県立近代美術館 木版
6-37	徳力 富吉郎 『大衆版画』第1輯 表紙	1931(昭和6)	和歌山県立近代美術館 木版
6-38	麻田 辨次 井上雪子 『大衆版画』第2輯 表紙	1931(昭和6)	和歌山県立近代美術館 木版
6-39	武田 新太郎 『黄楊』創刊号 表紙	1933(昭和8)	和歌山県立近代美術館 木版
6-40	西村 眞琴 『さとぼろ』第1巻第5号 表紙	1925(大正14)	個人蔵 木版
6-41	高久 彌太郎 『さとぼろ』第2巻第4号 表紙	1926(大正15)	個人蔵 木版
6-42	栗山 茂 オセアニア土蛮画 『ゆうかり』第3輯 表紙	1931(昭和6)	和歌山県立近代美術館 木版
6-43	仲村 岳 『ゆうかり』第14輯 表紙	1933(昭和8)	和歌山県立近代美術館 木版
6-44	田川 憲一 酔ひどれ船 『版画長崎』第5輯所収	1935(昭和10)	和歌山県立近代美術館 木版
6-45	棟方 志功 佛婦裸体 『青森版画』創刊号 表紙	1939(昭和14)	和歌山県立近代美術館 木版
6-46	伊東 健乃典 瓦斬タンク 『九州版画』第24号 表紙	1941(昭和16)	和歌山県立近代美術館 木版
6-47	藤牧 義夫 都会風景 『新版画』第3号所収	1932(昭和7)	和歌山県立近代美術館 木版
6-48	藤牧 義夫 『新版画』第4号 都市田園診断号 表紙	1932(昭和7)	和歌山県立近代美術館 木版
6-49	藤牧 義夫 鉄の橋 『新版画』第10号 第3回展覧会開催記念号所収	1933(昭和8)	和歌山県立近代美術館 木版
6-50	藤牧 義夫 つき 『新版画』第12号 第4回展覧会記念号所収	1934(昭和9)	和歌山県立近代美術館 木版
6-51	藤牧 義夫 『新版画』第14号 表紙	1934(昭和9)	和歌山県立近代美術館 木版
6-52	清水 正博 『新版画』第16号 都市貫流特輯号 表紙	1935(昭和10)	和歌山県立近代美術館 木版

## 第7章 社会のなかで—日本版画協会のころ

7-1	長谷川 潔 アレキサンドル三世橋とフランスの飛行船	1930(昭和5)	福島県立美術館 メゾチント
7-2	長谷川 潔 『竹取物語』	1933(昭和8)	和歌山県立近代美術館 エンブレイヴィング、ドライポイント
7-3	三木 辰夫 ギャンプリング	1933(昭和8)頃	和歌山県立近代美術館 エッチング
7-4	今 純三 風景	1936(昭和11)	青森県立郷土館 ドライポイント
7-5	今 純三 松尾鉾山精錬場	1938(昭和13)	青森県立郷土館 エッチング
7-6	武藤 完一 蘇州風景	1940(昭和15)	和歌山県立近代美術館 エッチング、ドライポイント
7-7	武藤 完一 支那の裏町	1942(昭和17)	公益財団法人 エッチング 西宮市大谷記念美術館
7-8	武藤 完一 造船所	1950(昭和25)	公益財団法人 エッチング 西宮市大谷記念美術館
7-9	関野 準一郎 河畔	1936(昭和11)	青森県立郷土館 エッチング
7-10	関野 準一郎 埠頭裏	1937(昭和12)	青森県立郷土館 エッチング

7-11	神原 浩 銀汀(波切風景)	1936(昭和11)	和歌山県立近代美術館 エッチング、アクアチント
7-12	曾我尾 武治 船の修理所	1936(昭和11)	和歌山県立近代美術館 エッチング
7-13	高羽 敏 石仏と子供	1942(昭和17) エッチング	公益財団法人 西宮市大谷記念美術館
7-14	高羽 敏 草	1943(昭和18) ドライポイント	公益財団法人 西宮市大谷記念美術館
7-15	西田 武雄 岡崎夫人像	1937(昭和12)頃	青森県立郷土館 エッチング、ドライポイント
7-16	笠木 實 のぶ	1940(昭和15)	和歌山県立近代美術館 エッチング、ドライポイント
7-17	駒井 哲郎 河岸	1935(昭和10)	和歌山県立近代美術館 エッチング
7-18	駒井 哲郎 足場	1942(昭和17) [1975(昭和50)年刷]	和歌山県立近代美術館 エッチング
7-19	織田 一磨 井ノ頭の池	1931(昭和6)	和歌山県立近代美術館 リトグラフ
7-20	田辺 至 裸婦	1933(昭和8)	和歌山県立近代美術館 リトグラフ
7-21	田坂 乾 西便門外(北京)	1938(昭和13)	和歌山県立近代美術館 リトグラフ
7-22	村井 正誠 ポウトレ・アラブ	1930(昭和5)頃	和歌山県立近代美術館 リトグラフ
7-23	梅原 龍三郎 座裸婦〈裸婦十題〉	1930(昭和5)	和歌山県立近代美術館 木版、ステンシル
7-24	安井 曾太郎 外房風景〈安井曾太郎版画集〉	1932(昭和7)	輝開 木版
7-25	安井 曾太郎 画家とモデル〈安井曾太郎版画集〉	1934(昭和9)	和歌山県立近代美術館 木版
7-26	碓 伊之助 金鳳花	1931(昭和6)	和歌山県立近代美術館 木版
7-27	碓 伊之助 南仏の田舎娘	1931(昭和6)頃	和歌山県立近代美術館 木版
7-28	鷹山 宇一 月の形象	1933(昭和8)	和歌山県立近代美術館 木版
7-29	逸見 享 サボテンのある風景	1932(昭和7)	和歌山県立近代美術館 木版
7-30	旭 正秀 四人の使徒	1933(昭和8)	和歌山県立近代美術館 木版
7-31	谷中 安規 ムッテル・ショウス(ムッター・ハウス)	1933(昭和8)	和歌山県立近代美術館 木版・手彩
7-32	谷中 安規 ドラゴンズドリーム	1939(昭和14)頃	和歌山県立近代美術館 木版
7-33	前川 千帆 夏の花	1939(昭和14)	輝開 木版
7-34	朝井 清 ぼんぶをおす男	1933(昭和8)	和歌山県立近代美術館 木版
7-35	杉本 義夫 海女	1932(昭和7)	和歌山県立近代美術館 木版
7-36	新田 穰 卓上静物	1944(昭和19)	和歌山県立近代美術館 木版
7-37	宇治山 哲平 段々畠と無花果	1936(昭和11)	和歌山県立近代美術館 木版
7-38	斎藤 清 鏡(自画像)	1938(昭和13)頃	福島県立美術館 木版
7-39	水船 六洲 裸婦	1939(昭和14)	和歌山県立近代美術館 木版
7-40	勝平 得之 ゐろり〈秋田風俗十題〉	1939(昭和14)	和歌山県立近代美術館 木版
7-41	畦地 梅太郎 草津白根山	1940(昭和15)	和歌山県立近代美術館 木版
7-42	川西 英 古道具屋	1941(昭和16)	和歌山県立近代美術館 木版

7-43	平塚 暎一 湖へゆく道、信州木崎湖	1933(昭和8)	輝開 木版
7-44	平塚 暎一 高野山奥の院	1941(昭和16)	和歌山県立近代美術館 木版
7-45	北川 民次 メキシコの浴み	1941(昭和16) [小野 忠重 摺]	和歌山県立近代美術館 木口木版
7-46	恩地 孝四郎 南海への思念	1942(昭和17)	和歌山県立近代美術館 木版
7-47	杉原 正巳 作品 2 〈版画集〉	1944(昭和19)頃	和歌山県立近代美術館 木版
7-48	杉原 正巳 作品 4 〈版画集〉	1944(昭和19)頃	和歌山県立近代美術館 木版
7-49	加藤 太郎 朴 〈版画集〉	1938(昭和13)頃	和歌山県立近代美術館 木版
7-50	加藤 太郎 トンボ 〈版画集〉	1944(昭和19)頃	和歌山県立近代美術館 木版
7-51	平塚 暎一 『きつつき』創刊号 表紙	1930(昭和5)	和歌山県立近代美術館 木版
7-52	前田 藤四郎 粉飾術 『きつつき』第3号 静物号所収	1931(昭和6)	和歌山県立近代美術館 リノカット
7-53	料治 朝鳴 からたちの花 『白と黒』 [第1次]第25号 表紙	1932(昭和7)	和歌山県立近代美術館 木版
7-54	棟方 志功 貴女行路 『白と黒』 [第1次]第26号所収	1932(昭和7)	和歌山県立近代美術館 木版
7-55	棟方 志功 蝶々と女 『白と黒』 [第1次]第27号所収	1932(昭和7)	和歌山県立近代美術館 木版
7-56	谷中 安規 シネマ 『白と黒』 [第1次]第28号 特輯新秋号 所収	1932(昭和7)	和歌山県立近代美術館 木版
7-57	谷中 安規 髪模様 『白と黒』 [第1次]第37号 表紙	1933(昭和8)	和歌山県立近代美術館 木版
7-58	若山 八十氏 『孔版』創刊号 表紙	1942(昭和17)	和歌山県立近代美術館 謄写版
7-59	小泉 與吉 『謄写版』第1巻第2号 表紙	1935(昭和10)	和歌山県立近代美術館 謄写版
7-M1	『エッチング』87号(2月号) 表紙掲載作品：長谷川 潔 静物(花)	1940(昭和15)	和歌山県立近代美術館 冊子(雑誌)
7-M2	『エッチング』95号(11月号) 表紙掲載作品：笠木 實 のぶ	1940(昭和15)	和歌山県立近代美術館 冊子(雑誌)
7-M3	『エッチング』106号(11月号) 表紙掲載作品：駒井 哲郎 河岸	1941(昭和16)	和歌山県立近代美術館 冊子(雑誌)
7-M4	『エッチング』111号(4月号)表紙掲載作品：高羽 敏 石仏と子供	1942(昭和17)	和歌山県立近代美術館 冊子(雑誌)

## 第8章 版画の戦後一再生、そして世界へ

8-1	棟方 志功 二菩薩釈迦十大弟子	1939(昭和14)	千葉市美術館 木版(二曲六隻屏風)
8-2	棟方 志功 二菩薩釈迦十大弟子	1939/48(昭和14/23) 1967(昭和42)摺	一般財団法人 棟方志功記念館 木版(六曲一双屏風)
8-3	斎藤 清 ミルク	1949(昭和24)	福島県立美術館 木版
8-4	斎藤 清 凝視(花)	1950(昭和25)	福島県立美術館 木版
8-5	駒井 哲郎 束の間の幻影	1951(昭和26)	福島県立美術館 サンドペーパーによるエッチング
8-6	駒井 哲郎 海底の祭	1951(昭和26)	福島県立美術館 メゾチント、ソフトグランドエッチング
8-7	恩地 孝四郎 フォルム No.14 グロテスク(II)	1952(昭和27)	和歌山県立近代美術館 マルチブロック
8-8	恩地 孝四郎 ポエム No.22 葉っぱと雲	1953(昭和28)	和歌山県立近代美術館 マルチブロック
8-9	山口 源 能役者	1958(昭和33)	福島県立美術館 木版

8-10	品川 工 息吹き	1959(昭和34)	和歌山県立近代美術館 木版
8-11	吉田 政次 地の泉 No.1	1956(昭和31)	和歌山県立近代美術館 木版
8-12	上阪 雅人 鉄橋	1950(昭和25)	和歌山県立近代美術館 木版
8-13	萩原 英雄 石の花(赤)	1960(昭和35)	和歌山県立近代美術館 木版
8-14	吹田 文明 開かれた世界	1967(昭和42)	和歌山県立近代美術館 木版
8-15	関野 準一郎 ニコライ堂(聖堂)	1950(昭和25)	青森県立美術館 エングレーヴィング
8-16	関野 準一郎 郊外の景	1948 / 50(昭和23 / 25)	青森県立美術館 メゾチント
8-17	関野 準一郎 フィレンツェの屋根	1959(昭和34)	和歌山県立近代美術館 木版
8-18	長谷川 潔 ガラス球のある静物	1959(昭和34)	福島県立美術館 メゾチント
8-19	長谷川 潔 狐と葡萄(ラ・フォンテーヌ寓話)	1963(昭和38)	福島県立美術館 メゾチント
8-20	浜口 陽三 スペイン風油入れ	1954(昭和29)	和歌山県立近代美術館 メゾチント
8-21	浜口 陽三 パリの屋根	1956(昭和31)	和歌山県立近代美術館 カラーメゾチント
8-22	浜口 陽三 青いガラス	1957(昭和32)	和歌山県立近代美術館 カラーメゾチント
8-23	浜口 陽三 19と1つのさくらんぼ	1965(昭和40)	和歌山県立近代美術館 カラーメゾチント
8-24	浜田 知明 初年兵哀歌(歩哨)	1951(昭和26) エッチング、アクアチント	福島県立美術館 河野保雄コレクション
8-25	浜田 知明 初年兵哀歌(歩哨)	1954(昭和29)	福島県立美術館 エッチング、アクアチント
8-26	深沢 幸雄 ダンテ『神曲』〈地獄篇〉より ブルネット・ラティエーニ	1956(昭和31)	和歌山県立近代美術館 エッチング、ディープエッチング、 ソフトグランドエッチング、ルーレット
8-27	深沢 幸雄 めし	1956(昭和31)	和歌山県立近代美術館 メゾチント
8-28	瑛九 旅人	1957(昭和32)	和歌山県立近代美術館 リトグラフ
8-29	泉 茂 深夜のセロ弾き	1954(昭和29)	和歌山県立近代美術館 エッチング、アクアチント
8-30	泉 茂 インディアン	1956(昭和31)	和歌山県立近代美術館 リトグラフ
8-31	鬚嘯 田園	1956(昭和31)	和歌山県立近代美術館 リトグラフ
8-32	池田 満寿夫 女・動物たち	1960(昭和35)	国立国際美術館 ドライポイント、アクアチント
8-33	池田 満寿夫 ヴォーグから来た女	1966(昭和41)	国立国際美術館 ドライポイント、エッチング、エングレーヴィング
8-34	菅井 汲 サムライ	1958(昭和33)	和歌山県立近代美術館 リトグラフ
8-35	加納 光於 星・反芻学 I	1961(昭和36)	和歌山県立近代美術館 インタリオ
8-36	加納 光於 星・反芻学 II	1962(昭和37)	福島県立美術館 インタリオ
8-37	村井 正誠 風	1962(昭和37)	和歌山県立近代美術館 リトグラフ
8-38	村井 正誠 黒い太陽	1962(昭和37)	和歌山県立近代美術館 リトグラフ
8-39	オノサト トシノブ 二つの円 緑・赤	1959(昭和34)	和歌山県立近代美術館 リトグラフ
8-40	岩根 豊秀 ひなげし	1951(昭和26)	和歌山県立近代美術館 謄写版

8-41	岩根 豊秀 彦根城の石垣	制作年不詳	和歌山県立近代美術館 謄写版
8-42	福井 良之助 静物	制作年不詳	和歌山県立近代美術館 謄写版
8-43	福井 良之助 けし(2)	1959(昭和34)	和歌山県立近代美術館 謄写版
8-44	若山 八十氏 妖	1963(昭和38)	和歌山県立近代美術館 謄写版(和紙孔版)
8-45	若山 八十氏 浮	1967(昭和42)	和歌山県立近代美術館 謄写版(和紙孔版)
8-46	清水 武次郎 白い花	1960(昭和35)	和歌山県立近代美術館 謄写版(和紙孔版)
8-47	清水 武次郎 曲	1963(昭和38)	和歌山県立近代美術館 謄写版(和紙孔版)
8-M1	関野 準一郎 銅版画頒布会第一回作品・聖堂・解説	1950(昭和25)	青森県立美術館 謄写版
8-M2	関野 準一郎 銅版画頒布会第二回作品・郊外の景・解説	1950(昭和25)	青森県立美術館 謄写版
8-M3	関野 準一郎 エッチング頒布会十二回完了の為のお願い	1952(昭和27)	青森県立美術館 謄写版

## 第9章 版への問い—版画の「現代」

9-1	横尾 忠則 「腰巻お仙」ポスター	1966(昭和41)	和歌山県立近代美術館 シルクスクリーン
9-2	横尾 忠則 「第6回東京国際版画ビエンナーレ展」ポスター	1968(昭和43)	和歌山県立近代美術館 オフセット
9-3	両角 修 No.13	1972(昭和47)	和歌山県立近代美術館 木版
9-4	百瀬 寿 S-Silver and Gold by Silver and Gold	1986(昭和61)	福島県立美術館 シルクスクリーン
9-5	吉原 英雄 シーソー 1	1968(昭和43)	和歌山県立近代美術館 リトグラフ、エッチング
9-6	髪嘸 レインボー北斎 ポジションA	1970(昭和45)	福島県立美術館 シルクスクリーン、コラージュ
9-7	井田 照一 Stone, Paper and Stone	1976(昭和51)	和歌山県立近代美術館 リトグラフ(両面刷)
9-8	木村 光佑 現在位置存在(A)	1970(昭和45)	和歌山県立近代美術館 リトグラフ、シルクスクリーン
9-9	黒崎 彰 闇のコンポジション A	1970(昭和45)	福島県立美術館 木版
9-10	高松 次郎 英語の単語	1970(昭和45)	和歌山県立近代美術館 オフセットリトグラフ
9-11	吉田 克朗 Work 9	1970(昭和45)	和歌山県立近代美術館 シルクスクリーン
9-12	李 禹煥 関係項B	1979(昭和54)	和歌山県立近代美術館 木版
9-13	李 禹煥 遺跡地にて 2	1984(昭和59)	福島県立美術館 リトグラフ
9-14	木村 秀樹 Pencil 2-3	1974(昭和49)	和歌山県立近代美術館 シルクスクリーン
9-15	齋藤 智 Untitled C	1976(昭和51)	和歌山県立近代美術館 シルクスクリーン
9-16	一原 有徳 ZOP 84	1984(昭和59)	和歌山県立近代美術館 モノタイプ
9-17	小枝 繁昭 Still Life on the Table #3	1990(平成2)	和歌山県立近代美術館 シルクスクリーン、アクリル絵具
9-18	小林 敬生 蘇生の刻 S63-12	1988(昭和63)	和歌山県立近代美術館 木口木版、コラージュ
9-19	辰野 登恵子 May-7-91	1991(平成3)	福島県立美術館 リトグラフ

## 第10章 版に託す—私、心、イメージ

10-1	清宮 質文 ある空間(蝶)	1962(昭和37)	福島県立美術館 木版
10-2	清宮 質文 九月の海辺	1970(昭和45)	福島県立美術館 木版
10-3	斎藤 清 会津の冬(1)	1970(昭和45)	福島県立美術館 木版
10-4	野田 哲也 日記1976年8月19日	1976(昭和51)	福島県立美術館 木版、シルクスクリーン
10-5	山中 現 第二夜	1984(昭和59)	福島県立美術館 木版
10-6	日和崎 尊夫 KALPA-X	1969(昭和44)	福島県立美術館 木口木版
10-7	日和崎 尊夫 KALPA-夜	1972(昭和47)	福島県立美術館 木口木版
10-8	柄澤 齊 肖像画IV アルチュール・ランボー	1982(昭和57)	福島県立美術館 木口木版
10-9	柄澤 齊 肖像画VII シャルル・ボードレー	1983(昭和58)	福島県立美術館 木口木版
10-10	秀島 由己男 風の舟A	1981(昭和56)	福島県立美術館 メゾチント
10-11	菊池 伶司 Writing-Lecture	1968(昭和43)	和歌山県立近代美術館 エッチング、アクアチント
10-12	北川 健次 午後	1975(昭和50)	和歌山県立近代美術館 エッチング、アクアチント
10-13	清原 啓子 久生十蘭に捧ぐ	1982(昭和57) / 1988(昭和63) [深沢幸雄監修による没後刷]	和歌山県立近代美術館 エッチング
10-14	安部 直人 卵型二態III	1990(平成2)	福島県立美術館 ディープエッチング、メゾチント
10-15	中林 忠良 転位 '82-地-II (秋)	1982(昭和57)	和歌山県立近代美術館 エッチング、アクアチント
10-16	長岡 國人 Homage to 6 Japanese Nobel Prize Winners No. 1	1986(昭和61)	和歌山県立近代美術館 エッチング、フロッタージュ、アクアチント
10-17	池田 良二 cape watershed (岬の分水嶺)	1988(昭和63)	和歌山県立近代美術館 フォトエッチング、エッチング、アクアチント、 ドライポイント、メゾチント
10-18	山口 啓介 繭の記憶	1991(平成3)	国立国際美術館 エッチング
10-19	藤田 修 Visitor	1993(平成5)	和歌山県立近代美術館 フォトエッチング、エッチング、アクアチント
10-20	山本 桂右 光・時間・静寂 No.13	1998(平成10)	和歌山県立近代美術館 リトグラフ
10-21	大宮 政郎 ミリオンカラットの友人たちIII(宮沢賢治)	1987(昭和62)	福島県立美術館 エッチング / 綿
10-22	太田 三郎 POST WAR 46-47 兵士の肖像 ・堀山新太郎(1921-1944) 1992年7月2日 朝日新聞東京版夕刊掲載 ・中山成雄(1913-1940) 1992年9月3日 朝日新聞東京版夕刊掲載 ・兵藤春次郎(1922-1946) 1992年9月10日 朝日新聞東京版夕刊掲載 ・村田弘道(1918-1944) 1992年10月1日 朝日新聞東京版夕刊掲載 ・松山孝次(1926-1945) 1993年4月1日 朝日新聞東京版夕刊掲載 ・片田彰吾(1915-1944) 1993年4月8日 朝日新聞東京版夕刊掲載 ・片田四郎(1917-1945) 1993年4月8日 朝日新聞東京版夕刊掲載	1994(平成6)	和歌山県立近代美術館 コピー

# もうひとつの日本美術史—近現代版画の名作 2020 関連略年譜

1875	(明治8)年	2月	松田緑山、呉服橋に印刷所「玄々堂」を開業。
1887	(明治20)年	7月	合田清、フランスで木口木版を学び帰国。木口木版による印刷工房「生巧館」の設立に向けて動き出す。
1894	(明治27)年	1月	堀井新治郎親子、謄写版を開発。7月に神田鍛冶町で「謄写堂」を創業する。
1904	(明治37)年	7月	山本鼎、『明星』辰歳第7号に《漁夫》を発表。
1905	(明治38)年	9月	石井柏亭、石井鶴三ら、『平旦』創刊。掲載記事の中で山本鼎が「版画」の語を使用。
1907	(明治40)年	5月	石井柏亭、山本鼎ら、『方寸』創刊。
1909	(明治42)年	3月	渡邊庄三郎、「渡邊版画店」を京橋に開業。1915年頃より橋口五葉などが協力して「新版画」が生み出される。
		12月	石井柏亭、『文芸百科全書』の「版画」の項目で「創作的版画」の語を用いる。
1910	(明治43)年	9月	富本憲吉、南薫造、春にイギリスから帰国後、この頃より共に木版画制作に取り組む。
		11月	清宮彬、岡本帰一ら白馬会葵橋洋画研究所に通う若者たちを中心に、版画誌『白刀』第1号が刊行される。
1911	(明治44)年	10月	白樺主催泰西版画展覧会。ムンク、ピアズリーらの版画が展示される。
1913	(大正2)年	4月	長谷川潔、『聖盃』の表紙を手がけ始める。永瀬義郎とほぼ交互に分担。
1914	(大正3)年	2月	『現代の洋画』第23号「版画号」として刊行。
		4月	恩地孝四郎、田中恭吉、藤森静雄、私輯『月映』の制作を開始。9月から公刊『月映』の刊行を開始。
		10月	竹久夢二、日本橋に「港屋」開店。
1916	(大正5)年	11月	永瀬義郎、長谷川潔、廣島新太郎、「日本版画倶楽部」を結成。
1918	(大正7)年	6月	織田一磨、寺崎武男、戸張孤雁、山本鼎、のちに加わった竹腰健造が発起人となり「日本創作版画協会」を創立。翌年第1回展開催。
1921	(大正10)年	11月	旭正秀、小泉癸巳男、『版画』を創刊。後継誌として、翌年9月、『詩と版画』創刊。
1922	(大正11)年	2月	戸張孤雁、『創作版画と版画の作り方』刊行。
1923	(大正12)年	9月	<b>関東大震災。</b>
1924	(大正13)年	2月	山口久吉、神戸で『HANGA』を創刊。
		11月	第4回国画創作協会展。素描と版画の受け付けを開始する。
1925	(大正14)年	6月	外山卯三郎ら、北海道帝国大学の学生を中心に「札幌詩学協会」結成。詩と版画の雑誌『さとぼろ』を創刊。
1927	(昭和2)年	5月	帝国美術院、規程を改め絵画の中に「創作版画」を加え出品可能とする。10月の第8回帝展より版画の受理が始まる。
		9月	日本創作版画協会、総会で創作版画を「自刻自摺をもって、一種の絵画を創作する事を原則とす」と定義。
1928	(昭和3)年	4月	第7回国画創作協会展。第1部(日本画)内に版画室が新設される。7月に第1部が解散するが、第2部(洋画)が「国画会」として再開し版画も移行する。
		4月	第6回春陽会展。版画室が新設される。
1929	(昭和4)年	1月	麻田辨次、亀井藤兵衛、徳力富吉郎ら、「京都創作版画協会」を設立。
		5月	川西英、北村今三、春村ただをら、神戸で「三紅会」を結成。
		7月	仲村岳、小川龍彦、栗山茂ら、静岡で「童土社」を結成。1931年、版画誌『ゆうかり』創刊。
		12月	織田一磨、田辺至、渡辺光徳ら、「洋風版画会」を結成。
1930	(昭和5)年	2月	料治朝鳴、詩と文芸雑誌『白と黒』を創刊。
1931	(昭和6)年	1月	「日本版画協会」設立。会長には岡田三郎助が就任。
		2月	西田武雄、「日本エッチング研究所」設立を発表。翌年、機関誌『エッチング』創刊。
1932	(昭和7)年	4月	小野忠重、武藤六郎を中心に「新版画集団」結成。6月より機関誌『新版画』を刊行。
	この年		前田藤四郎、徳力富吉郎、北村今三ら京阪神の版画家たちが「黄楊」を結成。翌年、版画集『黄楊』を刊行。
1933	(昭和8)年	1月	関野準一郎ら、版画誌『陸奥駒』を青森で創刊。
		9月	武藤完一、『九州版画』を大分で創刊。
1934	(昭和9)年	2月	日本版画協会主催「日本現代版画とその源流展」がパリで開催される。
		4月	「版画長崎の会」が同人誌『版画長崎』を発行。

1935	(昭和10)年	5月	東京美術学校に「臨時版画研究室(教室)」設置。油画科教授の田辺至と図画師範科助教授の松田義之がエッチング部を、平塚運一が嘱託となり木版画部を指導(1944年に廃止)。
1936	(昭和11)年	2月	日本版画協会主催「日本の古版画と現代版画展」がジュネーブで開幕。マドリッドに巡回。
		7月	日本版画協会主催「日本現代版画展」がサンフランシスコで開幕。翌年5月まで欧米9都市を巡回。
1937	(昭和12)年	3月	小野忠重、清水正博、水船六洲ら5名、「造型版画協会」を結成。
1938	(昭和13)年	10月	第2回新文展で、棟方志功が版画として初の特選を受賞。
1939	(昭和14)年	この年	恩地孝四郎、関野準一郎と山口源とともに自宅で研究会「一木会」を始める。
1940	(昭和15)年	11月	西田武雄ら、「日本エッチング作家協会」を結成。
1942	(昭和17)年	9月	若山八十氏、『孔版』を創刊。
1943	(昭和18)年	5月	戦時体制への協力のため「日本版画奉公会」結成。
1945	(昭和20)年	8月	<b>ポツダム宣言受諾。</b>
1949	(昭和24)年	5月	サロン・ド・プランタン展で、斎藤清が一等賞受賞。
1951	(昭和26)年	4月	瑛九、泉茂ら、「デモクラート美術家協会」を結成。
		9月	<b>サンフランシスコ講和条約調印。</b>
	この年	10月	第1回サンパウロ・ビエンナーレで、斎藤清と駒井哲郎がサンパウロ日本人賞を受賞。
		この年	関野準一郎、駒井哲郎ら、「銅版画研究会」(通称「火葬町銅版画研究所」)開設。
1952	(昭和27)年	4月	第2回ルガーノ白と黒国際展で、棟方志功と駒井哲郎が優秀賞を受賞。
		5月	棟方志功、北川民次ら、「日本版画院」創立。
1953	(昭和28)年	7月	関野準一郎、駒井哲郎、浜口陽三、浜田知明ら、「日本銅版画家協会」結成。
1955	(昭和30)年	7月	第3回サンパウロ・ビエンナーレで、棟方志功が版画部門最高賞を受賞。
1956	(昭和31)年	6月	第28回ヴェネツィア・ビエンナーレで、棟方志功が国際版画大賞を受賞。
1957	(昭和32)年	6月	第1回東京国際版画ビエンナーレ展開催。1979年の第11回展まで開催される。
1958	(昭和33)年	この年	東京藝術大学絵画科の集中講義として版画教育が始まる。非常勤講師として女屋勘左衛門が石版画、駒井哲郎が銅版画、小野忠重が木版画の指導にあたる。
1960	(昭和35)年	4月	棟方志功、前川千帆ら、「日本版画会(日版会)」創立。
1963	(昭和38)年	4月	京都市立美術大学西洋画科の集中実技として版画教育が始まる。
	この年		東京藝術大学大学院に版画専攻設置。
1964	(昭和39)年	10月	若山八十氏の呼びかけで、孔版画研究会「蝨土会」が創立。
		10月	<b>第18回オリンピック東京大会芸術展示として国立近代美術館で「近代日本の名作」展開催。</b>
1966	(昭和41)年	6月	第33回ヴェネツィア・ビエンナーレで、池田満寿夫が版画部門国際大賞を受賞。
	この年		東京藝術大学に絵画第六講座として版画講座が認可される。
1969	(昭和44)年	この年	女屋勘左衛門、「東京版画研究所」開設。
1970	(昭和45)年	4月	泉茂、大阪芸術大学芸術学科教授に就任。吉原英雄、京都市立芸術大学助教授に就任。
		11月	<b>和歌山県立近代美術館開館。</b>
1971	(昭和46)年	4月	駒井哲郎、東京藝術大学初の版画担当専任教授として助教授に就任(翌年教授)。
1973	(昭和48)年	3月	雑誌『版画藝術』(阿部出版)創刊。
1974	(昭和49)年	11月	「大学版画研究会」発足(現「版画学会」)。
1977	(昭和52)年	この年	日和崎尊夫、柄澤齊ら木口木版画家による「蝨の会」結成。
1978	(昭和53)年	9月	若山八十氏を中心に孔版画研究会「点の会 日本和紙孔版画作家連盟」創立。
1984	(昭和59)年	7月	<b>福島県立美術館開館。</b>
1985	(昭和60)年	3月	第1回和歌山版画ビエンナーレ展開催。1993年の第5回展まで開催。
1988	(昭和63)年	10月	木村秀樹、小枝繁昭らが結成した「MAXI GRAPHICA」、第1回展を開催。
1992	(平成4)年	4月	多摩美術大学に版画科設立。版画科初代科長に吹田文明が就任。
1994	(平成6)年	7月	<b>和歌山県立近代美術館、新築移転。</b>
2010	(平成22)年	9月	「日本近代の青春 創作版画の名品」展(和歌山県立近代美術館ほか巡回)。
2020	(令和2)年	7月	「もうひとつの日本美術史—近現代版画の名作2020」展。